

2008.10.11

ライヴ録音から選んだ
私の好きな名曲・名演を集めて

プログラム

今日は、ライヴ録音にこだわりを持つ私が、特に気に入っている曲、あるいは名演奏を集めてお聴きいただきます。この曲を得意にしていたミルシテインの演奏で聴くゴールドマルクのヴァイオリン協奏曲は録音が少なく、聴く機会に恵まれません。ロマン派を代表する隠れた名曲の一つです。ショパンの最高傑作の一つに挙げられるソナタ第3番はイギリス出身のリンパニーが来日時に名演を残しました。マーラーの交響曲第3番は、特に第6楽章が全作品中の最高傑作と言っても良いと思いますが、ベルティーニの来日時の演奏は感動的です。メンデルスゾーン、ボロディン、ファリャの作品も魅力溢れる演奏です。名曲と呼ばれる作品には、必ず名演があります。名演というものに出会って初めて、名曲と気付かせてくれるのだと思います。

カール・ゴールドマルク (1830~1915) :

ヴァイオリン協奏曲イ短調 op.28 ~ 第1楽章から第3楽章抜粋

ナタン・ミルシテイン (ヴァイオリン)
ジュリアス・ルデル指揮ウィーン交響楽団
(1975. 6. 18 ウィーン・コンツェルトハウス大ホールLive)

フレデリック・ショパン (1810~1849) :

ピアノ・ソナタ第3番イ短調 op.58 ~ 第1楽章、第3楽章から、第4楽章

モーラ・リンパニー (ピアノ)
(1992. 4. 3 サントリーホールLive)

フェリックス・メンデルスゾーン (1809~1847) :

序曲“フィンガルの洞窟” op.26

小澤征爾指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
(1983. 6. 10 ベルリン、フィルハーモニーホールLive)

*** 休憩 ***

アレクサンドル・ボロディン (1833~1887) :

弦楽四重奏曲第2番ニ長調 ~ 第1楽章から、第3楽章、第4楽章から

東京クアルテット
(1993. 9. 6 モントルー、コレジオ・パピオ教会Live)

マヌエル・デ・ファリャ (1876~1946) :

舞踊音楽“三角帽子” ~ 粉屋の踊り

ジュリアン・ブリーム (ギター)
(1982. 8. 23 イギリス、クィーズホールLive)

クスタフ・マーラー (1860~1911) :

交響曲第3番ニ短調 ~ 第1楽章から、第6楽章から

ガリー・ベルティーニ指揮ケルン放送交響楽団
(1990. 11. 20 サントリーホールLive)